

3 シートの補修

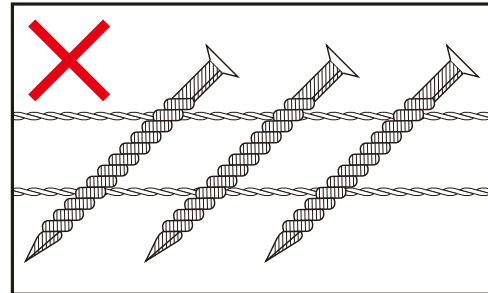
穴傷や破れ等の大きさに応じて、粘着防水テープを使用したり、シート増し張りするなど、シート損傷箇所から雨水が入らないように補修して下さい。

4 その他の留意事項

- (1) デュポン™ タイベック® ルーフライナーは、滑り止め加工した茶色の不織布(防滑層)を表層面に、その下側に防水機能のある白色の不織布タイベック®(防水層)で構成されています。
- (2) 施工中、表面の防滑層に毛羽立ちや剥離が発生する場合がありますが、その下側の防水層タイベック®に損傷がなければ、防水性能に影響はありません。

⚠ 注意

瓦・桟木等の固定で、自動釘打ち機による金属線で結束された釘(ワイヤネイル)は使用しないで下さい。金属線がシートを破き漏水の原因になります。



資料のご請求・お問い合わせは



0120-300355

E-mail Tyvek.Japan@jpn.dupont.com

まで御連絡下さい。

お求めは

デュポン® タイベック® ルーフライナー 特約代理店

総輸入販売元

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社

〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

URL <http://www.tyvek.co.jp>

デュポン™、DuPont™、デュポンオーバルマーク、The miracles of science™、タイベック®、Tyvek®は、米国デュポン社の商標もしくは登録商標です。

Copyright © 2013 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co., Ltd. All rights reserved.

デュポン™
タイベック®
ルーフライナー



The miracles of science™

高耐久・透湿 次世代ルーフィング

デュポン™ タイベック® ルーフライナー

標準施工要領



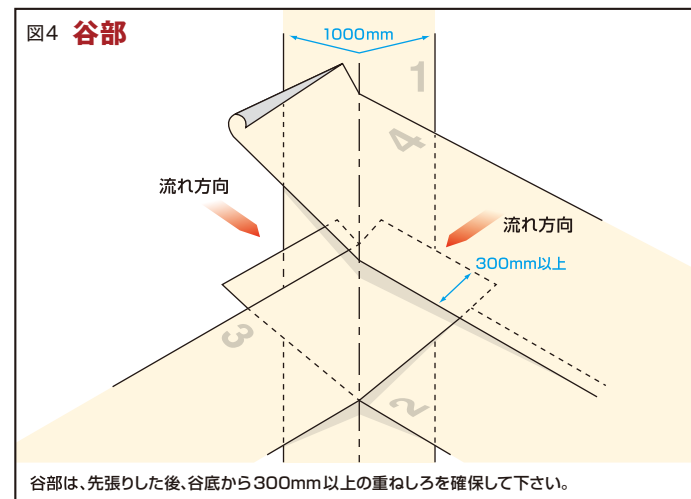
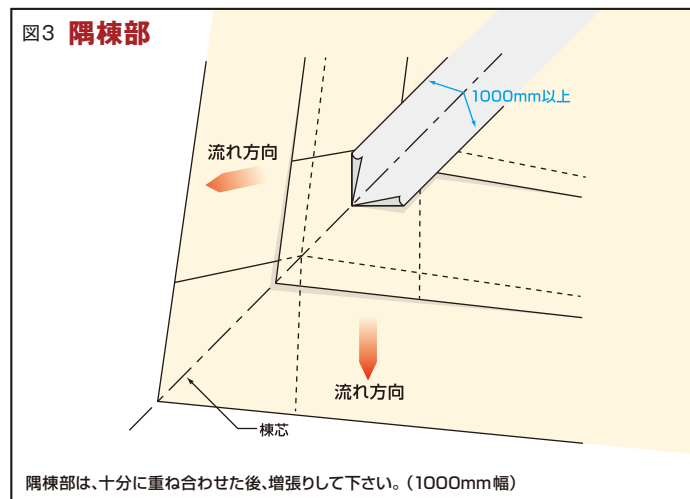
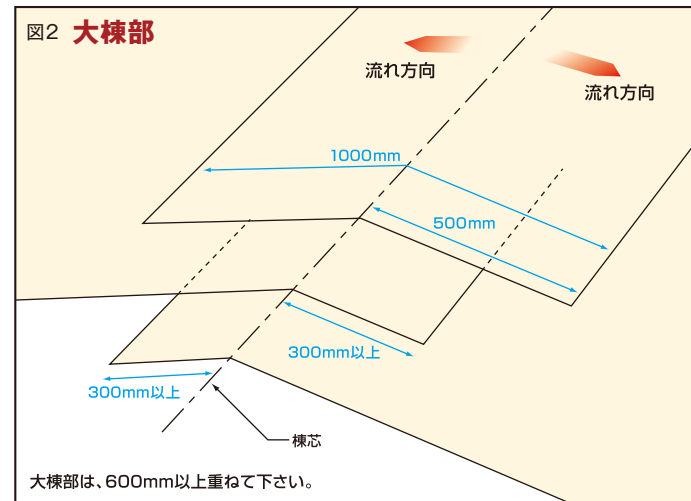
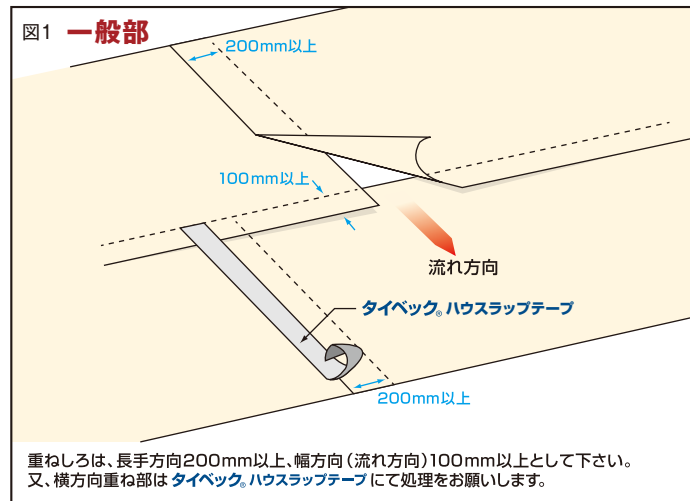
1 施工上の留意事項

- (1) 原則として3寸勾配以上の屋根でご使用下さい。
- (2) スレート(コロニアル)屋根及びシングル屋根への御使用はお避け下さい。
- (3) 屋根葺き材とデュポン™ タイベック® ルーフライナー間の湿気排出のため、通気層等のスペースを設けて下さい。
- (4) 棟換気、小屋裏換気等の措置をとり、野地合板等の湿気を排出する工法としてください。
- (5) 粘着防水テープはタイベック® ハウスラップテープ又は、それと同等のアクリル系、ブチル系のテープを使用して下さい。ゴムアス系の粘着テープは使用しないで下さい。
- (6) 桟木の固定等で自動釘打ち機による、金属線で結束された釘(ワイヤネイル)は、釘に残るワイヤがシートを破きますので使用しないで下さい。
- (7) ステープルの打ち損じ(坐屈等)は、漏水の原因になるので、粘着防水テープで補修して下さい。
- (8) 野地合板等表面の清掃を必ず行い、突起が無いこと、表面が完全に乾燥していることを確認して作業して下さい。
- (9) タイベック® ルーフライナーに製造年月が印刷されていることをご確認下さい。また、傷、破れ等がないかご確認下さい。
- (10) ステープルは重ね部以外には打たないで下さい。もし打った場合は必ず粘着防水テープを貼って覆い隠して下さい。
- (11) 火や高熱物を近づけないで下さい。
- (12) 強風下での施工は避けて下さい。
- (13) タイベック® ルーフライナー施工後は、速やかに屋根材を施工して下さい。
- (14) 屋根材の施工までに期間がある場合、又は荒天が予想される場合はブルーシート等で養生して下さい。
- (15) 防腐・防蟻加工された桟木等は薬剤が十分に乾燥していることを確認して下さい。

2 施工方法 (参考例)

- (1) **デュポン™ タイベック® ルーフライナー**は桁行き方向に横張りして下さい。
- (2) **タイベック® ルーフライナー**の重ね部は、長手方向200mm以上、流れ方向100mm以上とし、シワ、緩みのないよう張り上げます。長手方向の継ぎ目は接近しないように乱張りとし、長手方向の継ぎ目に粘着防水テープを貼ります。(図1参照)
- (3) ステープルはシートの重ね部に打って下さい。ステープルを打った部分は必ずシートを2重にするか、粘着テープを貼って下さい。ステープルはステンレス製を推奨します。(図9,10参照)
- (4) ステープルの打ち込み間隔の目安は、シート水上側を仮止めする場合は約200mm、その他は約300mmとします。
- (5) 瓦棧木等の施工は、流し棧工法や溝が加工された棧木を使用し、棧木に雨水等が滞留しないようにして下さい。
- (6) 棟部(図2,3参照)
大棟部においては、300mm以上づつ両側折掛けとし、さらに**タイベック® ルーフライナー**(1,000mm幅)を棟頂部から左右へ折掛けるように増し張りする。隅棟部においても同様に増し張りして下さい。
- (7) 谷部(図4参照)
谷底から左右へ**タイベック® ルーフライナー**(1000mm幅)を先張りし、その上から**タイベック® ルーフライナー**を左右に重ね合わせながら、谷底より300mm以上伸ばし施工して下さい。

施工図 (建築仕様によって異なる為、参考例となります。)



- (8) 壁取り合い部(図5参照)
シートを300mm以上立ち上げて下さい。
(雨押さえ板金等の上端から100mm以上)
- (9) 軒先部(図6参照)
軒天水切金物の上に、
タイベック® ルーフライナーを重ね、
タイベック® ハウスラップテープで密着させます。
- (10) ピンホールが出来るおそれがある箇所は、粘着防水テープ等で補強処理をします。

